

# 広報 ふたば



しょうゆ  
小さじ 1

みそ  
大さじ 1/2

ソース  
大さじ 2/3

トマトケチャップ  
大さじ 2

## 始めませんか、減塩生活。

### 目次

- P 2 始めませんか、減塩生活。
- P 6 町民の皆さまへ
- P10 町民体育祭開催
- P14 教育長メッセージ

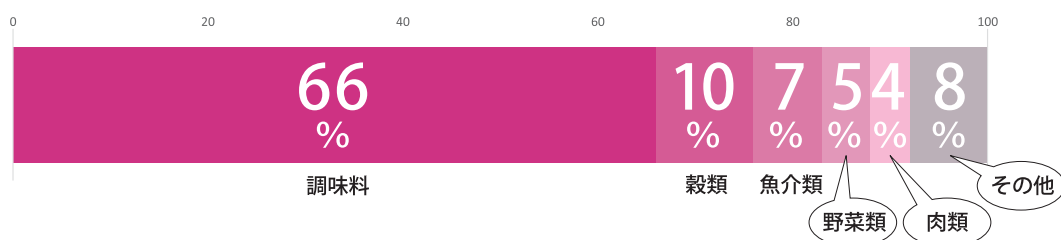
これらの調味料に含まれる  
食塩は何グラム？

## 食塩摂取の約7割は調味料から

平成28年の国民健康・栄養調査の結果、私たちが口にする食塩のうち、66%がしょうゆやみそなどの調味料から摂取していることがわかっています。知らず知らずのうちに食塩を摂り過ぎてしまうことは健康への大きなリスクです。高血圧や心臓病を防ぐためにも、まずは調味料の使い方を見直すことが大切です。

料理を美味しくするには欠かせない調味料ですが、食塩量が多いという特徴があります。

使用頻度の高い調味料に含まれる食塩量を知り、選び方や食べ方を工夫して美味しく減塩しましょう。



平成28年国民健康・栄養調査より

表紙の答え：食塩1g 結構多い食塩を含んでいますね。

## なぜ、食塩の過剰摂取が問題なのでしょうか

### 食塩を過剰に摂取すると…



## 血圧が高くなります！

### 血圧が高くなると

血管の弾力性が失われ、厚く、硬く変化して動脈硬化に。さらに心臓や脳血管疾患につながります。食生活を見直して、血管の老化の進行を食い止めましょう。

双葉町民の食塩摂取量は国の目標値より高め。健康のために、減塩生活を始めましょう。

始めませんが、減塩生活。

## 過去5年の健診結果から双葉町民の傾向が明らかに

| 1日あたりの<br>食塩摂取量   | 男性    | 女性   |
|-------------------|-------|------|
| 福島県平均             | 11.9g | 9.9g |
| 双葉町<br>(推定値)      | 10.0g | 9.2g |
| 目標値<br>(厚生労働省の基準) | 7.5g  | 6.5g |

出展：第三次健康ふくしま21計画、福島医大健康増進センター分析結果

- ①双葉町で健康診断を受けた方の推定食塩摂取量（おおよそ一日の食塩摂取量）は男性10.0g、女性9.2g。特に男性の食塩摂取量が多く、男女ともに60歳以上の高齢者の食塩摂取量が多い傾向にあります。県内平均よりはやや低い状況にあるものの、国の目標値よりははるかに高い値となっています。
- ②食塩の過剰摂取などの結果、高血圧になる方の割合と血圧を下げる薬を内服している方の割合は、どちらも年齢があがるほど増加傾向にあります。

## きょうからできる手軽な減塩方法

## ①スープ・汁は残す



ラーメンやうどんなど、麺類のスープや汁物には食塩が多く含まれています。汁を残して食塩摂取量を減らしましょう。残すことで2gもの減塩が見込めます。

## ②小皿を活用する



しょうゆやソースなどを直接料理にかけてしまうと、かけ過ぎやどれだけ使ったかわからなくなります。小皿にとってつけて食べることで0.5g程度の減塩が見込めます。

## ③酢や香味野菜を使う



酸味のある調味料や香味野菜の風味を使って塩分をカバー。ただし、香辛料には食塩を使用している場合があります。2gほどの減塩が見込めます。

## ④栄養成分を確認

| 栄養成分表示1袋(4個当り) |         |
|----------------|---------|
| エネルギー          | 172kcal |
| たんぱく質          | 4.4g    |
| 脂質             | 11.3g   |
| 炭水化物           | 20.9g   |
| -糖質            | 5.6g    |
| -食物繊維          | 15.3g   |
| 食塩相当量          | 0.4g    |
| カルシウム          | 330mg   |
| 鉄              | 4.5mg   |

加工食品には栄養成分が表示されているため、「食塩相当量」を確認し、普段よく食べる食品に含まれる塩分量を知り、食塩相当量が低い商品を選ぶよう心掛けましょう。



## 「食改さん」をご存じですか？

減塩をはじめとして毎日の食生活に困りごとはありませんか。そんな時、地元には「食生活改善推進員」がいます。

その原点は戦後の食糧難の時代。

国民の栄養改善を目指して行政と住民が一体となり、活動をスタートさせました。

食生活が豊かになった現在、「食改（しょっかい）さん」の愛称で親しまれる推進員はその役割を変え、生活習慣病の予防や食育、高齢向けのメニュー考案など地域や世代に合わせた活動を展開しています。

食を通じて健やかな暮らしと人と人のつながりを育む地域の仲間です。ぜひ活動にご注目ください。

## 双葉町でも「食改さん」が活躍しています



9月27日、町民体育祭の会場で、双葉町の食生活改善推進員の皆さんが「減塩＝塩分を摂り過ぎない生活」を呼びかけました。

ブースでは「自分はどのくらいの濃度で塩味を感じるのか」をチェックできる体験が行われました。0%から1.6%までの塩分濃度が違う試験紙を口に入れて自分の味覚の特徴を確認するものです。これにより、塩分を摂り過ぎない工夫に繋げることができます。

体験した方は「薄味だと少し物足りない」、「健康のために減塩をがんばりたい」「1.6%の濃度でも塩味を感じない」などそれぞれの感想を話していました。

さらに1日にどれだけの塩分を摂取しているかを実際に体験するコーナーも設けられ、普段は目で確かめることのできない塩分量を目で見て確認できました。

今回のイベントでは楽しみながら「自分の味覚を知る」、「塩分量を実感する」ことができました。小さな工夫で減塩はできます。未来の健康のために、今日から少しずつ「減塩生活」を始めてみませんか。

## 食改さんにインタビュー



双葉町で地域の健康づくりを支える  
食生活改善推進員

志賀 徳子さん（下長塚）

Q：食生活改善推進員として活動を始めたきっかけを教えてください。

A：「料理に興味があった」ことがきっかけです。震災前は活動の一環として月1回程度、健康に配慮した食事作りを行っていましたが、震災後は活動を休止していました。

Q：活動を再開されたきっかけは。

A：避難指示が解除されたことを契機に活動を再開しました。料理を通した健康づくりへの情熱が原動力になっていると思います。

Q：現在の活動の柱となっている取り組みは何ですか？

A：減塩活動の周知です。食生活改善推進員とは別に、私が所属している「白ゆり婦人学級」でも減塩活動を呼び掛けています。

Q：最近おすすめしている減塩レシピがあれば教えてください。

A：「酢タマネギ」です。スライスしたタマネギを酢に漬けたもので、そのまま食べても美味

しいですが、サラダのトッピングや炒めたお肉のソース代わりにも使えるので減塩にもつながります。

Q：減塩を成功させるためのコツはありますか？

A：減塩は感覚でやってもなかなかうまくいきません。調味料を使う場合は計量スプーンなどを使い、きっちり測ることが減塩に繋がります。

Q：活動を通じて得られたことはありますか？

A：たくさんの人と出会い、学びあえたことがとても楽しいです。

Q：最近の活動で印象的だったことはありますか？

A：震災後に初めて新しいメンバーが加わったことです。今後の活動に弾みがつくと期待しています。

Q：今後の展望・活動について教えてください。

A：食生活改善推進員の活動を始めたころから、塩分の摂取量が多いと感じていました。まずは減塩を呼び掛けて、地域の健康につなげていきたいと思っています。

## 食生活改善推進活動に参加しませんか？

「減塩って大事なのはわかるけど、どうすればいいの?」、「家族の健康を守りたい」、「地域のために何かしたい」そんなあなたにぴったりなのが、食生活改善推進員です。

推進員は食や健康に関心がある方なら、どなたでも参加できます。

### 活動内容

・イベントでのブース運営      ・簡単な調理講習      ・情報発信など

仲間と楽しく学びながら、地域の健康づくりに貢献できます。

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0240-33-0131

## 町民の皆さまへ

菊花薫る霜月。日毎に日暮れが早まり、秋の深まりを実感します。

9月20日、「はたちを祝う会」に6人の方が参加されました。心身ともに健やかに成長された姿を故郷である双葉町で拝見することができ、心強く感じたところであります。町の復興には、「若い人材」による知恵と創意・工夫が不可欠です。今後ともまちづくりに積極的に参加いただき、自然豊かで歴史・文化の薫る「ふるさと双葉町」の復興に向けた大きな推進力となっていたただけることを願っております。

9月25日、谷公一自民党東日本大震災復興加速化本部長の視察に同行するとともに、要望書を手交しました。速やかな帰還困難区域全域の避難指示解除や、営農再開に必要な不可欠な農業用水路の除染・復旧、さらには特定帰還居住区域での農業のあり方についても、国の方針を示していただくよう強く要望しました。

10月4日・5日、昨年に引き続き、「ふたばフードフェス2025」を開催しました。天候にも恵まれ、二

日間で約1万3500人に来場いただきました。

来場いただいた皆さまは、双葉町産の食材や福島県沖で水揚げされた常磐ものを使用したメニューをはじめ、全国のおいしい食事を堪能されていました。本イベントをきっかけに、双葉町の現状を知り、魅力を感じていただくことで、さらなる交流人口の拡大に寄与するものと信じております。

10月3日から29日まで、県内外8会場で町政懇談会を開催いたしました。町の復興は緒に就いたばかりですが、町内の様子は目に見える形で変化しております。各会場で頂いた貴重なご意見やご要望を、今後の新しいまちづくりに反映させ、町民の皆さまに町の復興をより実感していただけるように職員一同全力で業務に取り組んでいきたいと考えております。

朝夕は冷え込む日もございます。町民の皆さまにはお身体に気を付けてお過ごしくださいようお願いいたします。

双葉町長 伊澤 史朗

## 長野県松川町長が来町

今年度から双葉町に職員を派遣して頂いている長野県松川町の北沢秀公町長が10月15日に来町されました。現在、松川町からは原涼太さんが派遣され、生涯学習課で主に社会教育事業に携わっています。

伊澤町長から北沢町長に職員派遣への感謝の言葉を述べ、震災からこれまでの復興の歩みを説明しました。

その後、北沢町長は復興が進むJR双葉駅東地区や駅西住宅、中間貯蔵施設など双葉町の現状を視察されました。



駅東地区を視察する北沢町長



左・北沢町長 右・伊澤町長



## 高橋国土交通副大臣・伊東地方創生担当大臣・自民党 東日本大震災復興加速化本部長が町内視察

9月25日

自由民主党東日本大震災復興加速化本部の谷公一本部長など役員が来町されました。谷本部長をはじめとする加速化本部のメンバーは8月にオープンした「イオン双葉店」や帰還困難区域の石熊地区などを視察しました。

伊澤町長からは帰還困難区域において復旧が進んでいない農業インフラの現状や放射線量などを説明するとともに、町内全域の避難指示解除や住宅整備支援などを求める要望書を提出しました。



谷公一本部長に要望書を提出する伊澤町長

9月24日

国土交通省の高橋克法副大臣が来町されました。

高橋副大臣は双葉町産業交流センターを視察し、平岩副町長から中野地区復興産業拠点に25件の企業進出が決まっていることや町内の復興状況などを説明しました。その後、岩本久人町議会議員と共に、復興・再生に向けた息の長い人的・財政的な継続支援などを求める要望書を提出しました。



高橋副大臣に要望書を提出する平岩副町長と岩本町議会議員

9月25日

伊東良孝地方創生担当大臣が来町されました。伊東大臣は東日本大震災・原子力災害伝承館を視察し、平岩副町長から運動公園の整備状況や大和ライフネクストのカンファレンスホテルやビーエイブルの双葉町における新しい拠点の建設状況などを含め、中野地区復興産業拠点の企業進出状況などを説明しました。



伊東地方創生担当大臣に産業拠点の状況を説明する平岩副町長

## 令和7年度 双葉町はたちを祝う会



9月20日、双葉町産業交流センターで令和7年度双葉町はたちを祝う会を開催し、全国各地の避難先から6人が式典に参加しました。

式典で伊澤町長は「皆さんがこれまで町に対する思いを、忘れず抱き続けてくださったことに、感謝申し上げるとともに、町へのきずなを感じ、心身ともに健やかに成長された姿を故郷である双葉町で拝見することができて心強く感じました」とあいさつしました。

参加者を代表して渡部颯斗さんと前田奈々葉さんがはたちの抱負を発表しました。



参加者によるダルマ鏡開き

### はたちの抱負



#### 渡部 颯斗さん

東日本大震災の時に支えてくださった地域の方々や家族に感謝しながら過ごし、これからの目標実現にむけてがんばっていききたい。



#### 前田 奈々葉さん

フラダンスやスポーツを通じて町の人に楽しさを伝えられるようにがんばっていききたい。



## 新成人チャレンジ事業 「ふたばを、見よう」



9月20日と21日、双葉町内において新成人チャレンジ事業“ふたばを、見よう”を実施しました。今年18歳から20歳を迎える町民を対象に、まち歩きや参加者同士の交流を通じて、ふるさと双葉町を感じてもらうことを目的に実施する事業で、福島県内外の避難先から、1日目は6人、2日目は5人が参加しました。

参加者からは「双葉町に来る度に新しい気づきがあり、どんどん変化しているのを感じた」、「昨年度参加した時に比べて、町に関わる人が増えていると感じた。」、「町に人が戻ってきて、たくさんの『楽しさ』が増えた。」、「震災前の良さを残しつつ、少しずつ発展して復興に向かっていていると思った。」との声がありました。双葉町で2日間を過ごし、新たな発見や町への愛着が感じられました。

町内のまち歩き



伝統芸能「神楽」体験



町で活躍する人との夕食会



町内企業の見学



記念品の作成



海岸の散策



## スポーツを通じて親睦を

9月27日、東日本大震災・原子力災害伝承館のアーカイブ広場で町民体育祭が行われました。見事な秋晴れとなった体育祭には前年を上回る200人余りが参加。震災後の体育祭は以前と趣向を変え、スポーツを通じて親睦を深められるように年齢や性別にかかわらず、子供から大人まで楽しめる競技に変更されています。

開会式では佐藤凜良さん、佐藤瑠成さん、志賀晴天さん、大和田詩さんが元気いっぱいに選手宣誓を行いました。

競技は5チームに分かれて行われ、老若男女が入り交じり、歓声と笑い声が響く中、玉入れなどの定番競技に加えてユニークな6つの競技に汗を流しました。



元気いっぱいの選手宣誓



上手にボールを運べるかな？



親子で楽しみました



200人を超える方に参加いただきました



体育祭の定番競技「玉入れ」



決められるか！勝負の一投！



## グルメとステージで大盛況 フードフェス2025

10月4日、5日、双葉町産業交流センター前において、「ふたばフードフェス2025」を開催し、日本酒などをはじめとする県産品や常磐もののほか、福島県内外の様々なグルメを楽しめるブースと、ステージイベントが行われました。

前年に引き続き2回目の開催となったフードフェスは、前年を超える勢いで、町民や県内外から多くの方に来場いただき、4日は約6,000人、5日は約7,500人の来場者がありました。

4日のオープニングを飾った伊澤町長ともぐもぐさくらさんのビール早飲み対決では伊澤町長が前年の雪辱を果たすべく、スタートの合図を待たずに飲み始めるフライング気味とも思われる作戦で見事勝利。前年のリベンジを果たし、会場は大いに盛り上がりました。

その後はI'mew（あいみゅう）さん、MITCH-MANさんの演奏があり、もぐもぐさくらさんの大食いステージでは豪快な食べっぷりを生で楽しむことができました。

5日は、標葉せんだん太鼓の迫力ある演奏からはじまり、おかずクラブさん、おごせ綾さん、レジェンド仮面ライダーショーがありました。最後は鬼越トマホークさんが軽快なトークで会場を笑顔と笑いで包み込み、2日間に渡るステージイベントが名残惜しくも幕を下ろしました。



気の合う仲間とカンパイ



おかずクラブ



鬼越トマホーク



家族連れにも好評でした



かき氷がお気に入りです♡



## 京都府京丹波町とのさらなる友好を

10月11日、京都府京丹波町で合併20周年の記念式典が行われ、伊澤町長が出席しました。式典に先立ち、伊澤町長は京丹波町の畠中源一町長に復興状況を説明し、これまでの支援に感謝を伝えました。

京丹波町は平成17年に旧瑞穂町・旧丹波町・旧和知町が合併して誕生しました。

双葉町は旧瑞穂町と昭和45年の大阪万博をきっかけに交流が始まり、平成6年に姉妹町を締結。その後、合併した京丹波町とは平成18年に友好町の盟約を締結しています。震災の際は支援をいただき、今は中学生の相互交流事業や町議会議員の交流などを展開するに至っています。



伊澤町長と握手を交わす畠中京丹波町長

## ふたばワールド開催

双葉郡の魅力と復興の歩みを発信するイベント「ふたばワールド2025」が、10月11日に川内村の田ノ入工業団地で開催されました。

このイベントは、双葉郡8町村が持ち回りで開催地となり、地域の連携と復興の姿を広く伝える場として毎年実施されています。

開会式では双葉郡の町村長や関係者がテープカットを行い、イベントの開催を祝いました。

イベントには双葉町から合計9団体が出店したほか、メインステージでは地域の伝統芸能が披露されました。

また、会場にはふたばワールドの呼び物、直径約1.5メートルの大鍋が用意され、地元・川内村のイワナなどの特産品を使った鍋料理が振舞われました。



ふたばワールド名物大鍋料理



ダルマの絵付け体験

## 双葉町軟式野球チーム 大会で躍動

9月から10月にかけて開催された「市町村対抗県軟式野球大会」に双葉町チームが出場しました。双葉町チームは見事3大会ぶりに初戦を突破すると、2020年度大会以来となる5年ぶりに3回戦まで勝ち進みました。

### 1回戦

矢祭町 11 - 9

### 2回戦

葛尾村 13 - 6

### 3回戦

須賀川市 1 - 17



震災の影響で避難先から大会に出場する選手が多く、選手が揃って練習する機会も少ない中、今回の大会には町職員3人が選手として出場。3人は投打に渡り力強いプレーを見せ、双葉町チームの3回戦進出の大きな力となりました。選手の皆さんお疲れ様でした。

- ・復興推進課 志賀村哲平さん（令和2年度採用）
- ・農業振興課 坂本孝之さん（福島県派遣）
- ・復興推進課 船木颯真さん（経済産業省派遣）

左から志賀村さん、船木さん、坂本さん ▶



## 住民意向調査を実施します

### “町民一人一人の復興”と“町の復興”を進めるための大切な調査です

今後のまちづくりに向けて皆さまのお考えを把握するため、今年度も復興庁、福島県と共同で住民意向調査を実施します。

この調査は、町民の皆さまの今後の生活設計や帰還の意思についてご意見・ご要望などをいただき、生活支援策やまちづくりを検討するための貴重な資料として活用する調査です。多くの皆さまの声を反映した「町民一人一人の復興」、「町の復興」が進められるよう、本調査へのご協力をお願いいたします。

#### 実施期間

**2025年10月27日～11月11日**

#### 対象者

震災時に双葉町に住民登録があった全世帯の代表者

- ▶ 分散避難されている場合は、それぞれの避難先へ調査票を送付しますので、送付された代表者ごとに回答をお願いします。

#### 調査方法

専用の封筒で調査票を送付します

- ▶ 記入後、同封の返信用封筒へ調査票を封入し、郵便ポストへ投かんもしくはWEBにてご回答をお願いします。

【問い合わせ先】 復興推進課 復興推進係 ☎ 0240-33-0127



## ～ 夢と希望のある「学び」へ ～

令和4年8月30日に特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されてから3年と2か月が過ぎ、役場本庁舎の北隣にはイオン双葉店がオープンしました。さらには復興シンボル軸の長塚跨線橋も開通し利便性が大変良くなったことはもちろん、双葉町が復興に向けて進んでいる様子がわかり嬉しく思います。

10月3日から県内外8か所において町政懇談会を開催しました。私から、新しいこども園・義務教育学校の開校までの工程スケジュールや設計コンセプト、双葉町新学校施設整備基本計画の概要について説明しました。カリキュラムの方向性として、1) グローバル・シチズンシップ、2) 幼少期からの外国語（英語）活動、3) 世界につながる異文化体験についてお話させていただきました。今後とも段階的に進捗状況等、ホームページや広報ふたばなどでお知らせいたします。

### 文部科学省 金城泰邦政務官・牛尾則文審議会の町内視察

10月3日、文部科学省の金城泰邦政務官が町内視察のため来町されました。伊澤町長、平岩副町長、森副町長も交えた意見交換会では、現在の双葉町復興状況や令和10年4月開校を目指している町内での学校再開について説明しました。さらには、震災後から継続されている教職員加配（復興推進加配）の配置や文部科学省地方教育アドバイザーの派遣をいただいていることについて御礼を申し上げるとともに、引き続きのご支援を要望しました。

また、同日には復興庁の牛尾則文審議官の訪問もあり、主に歴史民俗資料館における文化財保管の今後の計画などについて協議しました。町内視察では清戸迫横穴墓や旧双葉中学校を視察いただき、引き続き、国と連携しながら双葉町の教育の充実に向けた取り組みを推進してまいります。

双葉町教育委員会教育長 館下 明夫



義務教育校の場所を確認する金城政務官



産業交流センター屋上から復興状況を視察いただきました



## ふたば幼稚園だより

森林教室（小学生との交流）



今年も、福島県の森林ボランティア「森の案内人」による森林教室が開催されました。年長児は、昨年作った作品を覚えていたので、今年も同じだと思っていたら「くまさんカスタネット」だったので、大喜びでした！

細かく整えられた木のパーツに、爪楊枝を使って一つ一つボンドを塗る作業がとても大変で、去年は手伝ってもらいながら作っていた年長児でしたが、今年は全てひとりで作ることができました。

年少児は、初めての参加で最初は様子を見ながらの参加でしたが、段々と花や葉っぱのお話しに興味が出てきて、一緒に触ったり匂いを嗅いでみたりしながらお話を聞いていました。

「くまさんカスタネット」も難しいところは先生と一緒にやりながら完成させていました。

後日、完成したカスタネットを使って、小学生と一緒に「おもちゃのチャチャチャ」の合奏を楽しみました。



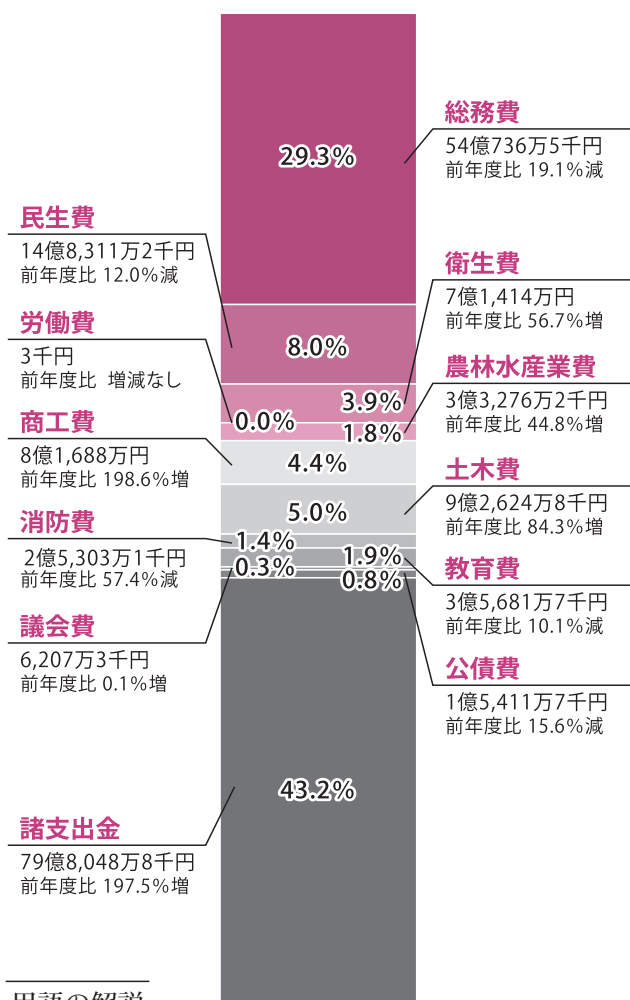
【問い合わせ先】 ふたば幼稚園 ☎0246-88-8084



# 令和6年度 一般会計決算報告

令和6年度の一般会計の決算額は、歳入総額196億5,237万円（前年度比25.5%増）、歳出総額184億8,703万6千円（前年度比33.9%増）となりました。

**歳出 184億8,703万6千円**  
（前年度比 33.9%増）

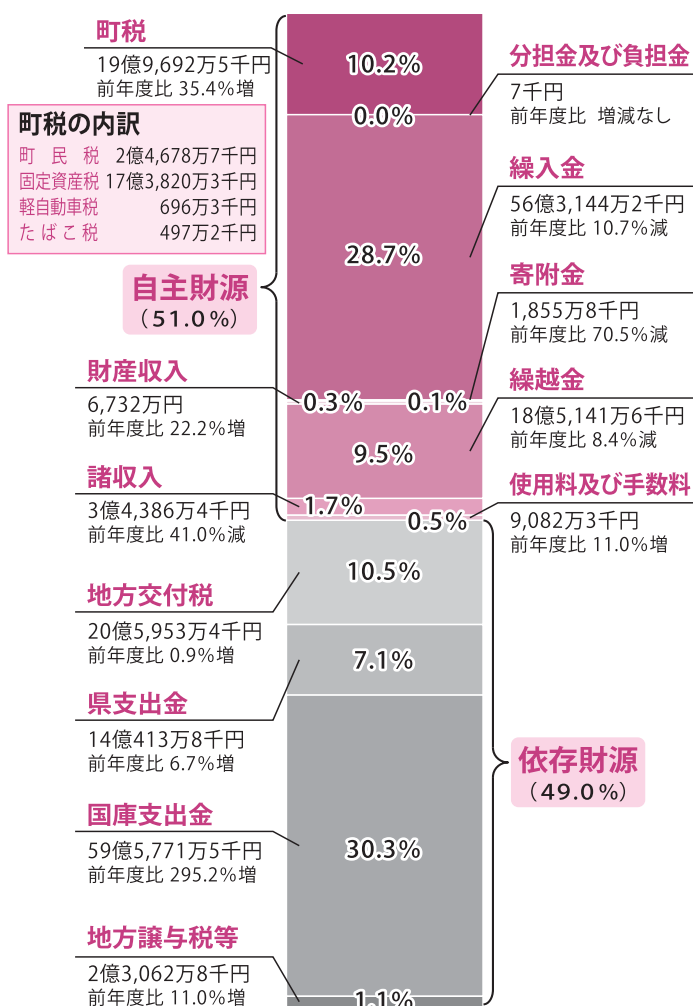


## 用語の解説

### 【歳出】

|        |                                       |
|--------|---------------------------------------|
| 議会費    | 議会の活動に要する経費                           |
| 総務費    | 人事、財政、企画、戸籍など他部門に分類されない事業に要する経費       |
| 民生費    | 社会福祉、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉、災害援助などの事業に要する経費 |
| 衛生費    | 保健衛生、母子保健、公害対策などの事業に要する経費             |
| 農林水産業費 | 農業、林業の振興などの事業に要する経費                   |
| 商工費    | 商工業、観光の振興などの事業に要する経費                  |
| 土木費    | 道路維持・整備、都市計画事業などに要する経費                |
| 消防費    | 消防、防災事業などに要する経費                       |
| 教育費    | 学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費           |
| 災害復旧費  | 大雨、地震などの災害によって生じた被害の復旧に要する経費          |
| 公債費    | 地方公共団体の借入金の元金及び利子を支払うための経費            |
| 諸支出金   | 基金の利子などを積み立てるための経費                    |

**歳入 196億5,237万円**  
（前年度比 25.5%増）



### 【歳入】

|          |                                            |
|----------|--------------------------------------------|
| 自主財源     | 町税や手数料など、町が自らの収入とすることができる財源                |
| 依存財源     | 国や県の意思で定められた額を交付されたり割り当てられる財源              |
| 町税       | 町民税や固定資産税など、皆さんから納められた税金                   |
| 繰入金      | 一般会計と特別会計、基金間などの会計間で移動するお金                 |
| 諸収入      | 雑入などその他様々な収入                               |
| 使用料及び手数料 | 住民票などの交付のために手数料として支払われたお金                  |
| 財産収入     | 町が持つ財産を運用したり売却するなどして得られたお金                 |
| 繰越金      | 前年度から繰り越されたお金                              |
| 国庫・県支出金  | 町が行う特定の目的の事業のために、国や県から交付されたお金              |
| 地方交付税    | 全国一律の行政サービスが受けられるように、国税の一部を一定の基準により交付されたお金 |
| 地方譲与税    | 国税として徴収され、一定の基準に基づき地方に譲与されたお金              |

## 令和6年度 一般会計の主な事業と決算額

### ■ 総務費

|                             |              |
|-----------------------------|--------------|
| ・双葉駅西地区復興拠点等整備事業            | 27億7,519万3千円 |
| ・中野地区復興産業拠点整備事業             | 6億2,800万円    |
| ・まちづくり整備事業コーディネート           | 2億559万円      |
| ・中長期的な派遣職員に係る負担金            | 1億2,939万9千円  |
| ・コミュニティーセンター改修事業（基本計画策定・設計） | 1億2,637万9千円  |
| ・移住定住支援体制整備事業               | 1億183万4千円    |
| ・帰還促進住宅支援事業補助金              | 7,200万円      |

### ■ 民生費

|                            |             |
|----------------------------|-------------|
| ・町内防犯・防災パトロール事業            | 2億4,470万2千円 |
| ・ICTきずな支援システム事業            | 1億303万6千円   |
| ・双葉駅西地区福祉・交流施設整備事業（基本計画策定） | 7,467万9千円   |
| ・双葉町復興支援員事業                | 6,952万3千円   |
| ・低所得者支援及び定額減税補足給付金事業       | 4,362万8千円   |

### ■ 衛生費

|                         |             |
|-------------------------|-------------|
| ・双葉地方広域市町村圏組合負担金（塵芥処理費） | 2億6,511万1千円 |
| ・双葉地方水道企業団負担金           | 2億1,785万6千円 |
| ・医療施設管理運営事業             | 4,178万7千円   |

### ■ 農林水産業費

|                  |           |
|------------------|-----------|
| ・中田地区養液栽培施設整備事業  | 7,442万3千円 |
| ・営農再開支援事業        | 6,680万2千円 |
| ・ため池放射性物質対策事業    | 4,400万円   |
| ・営農再開支援水利施設等保全事業 | 3,708万6千円 |

### ■ 商工費

|                 |             |
|-----------------|-------------|
| ・商業施設整備事業       | 4億7,753万5千円 |
| ・産業交流センター維持運営事業 | 9,680万3千円   |
| ・既存ストック施設改修事業   | 7,801万7千円   |
| ・アクティビティエリア整備事業 | 4,400万円     |
| ・観光交流イベント事業     | 999万7千円     |

### ■ 土木費

|              |             |
|--------------|-------------|
| ・下水道事業会計補助金  | 4億9,994万4千円 |
| ・町道等全般補修事業   | 9,404万6千円   |
| ・橋梁長寿命化・補修事業 | 7,517万7千円   |
| ・深谷こ線人道橋撤去事業 | 5,753万円     |

### ■ 消防費

|                  |             |
|------------------|-------------|
| ・双葉地方広域市町村圏組合負担金 | 1億2,942万7千円 |
| ・消防ポンプ車購入事業      | 5,148万円     |

### ■ 教育費

|                     |           |
|---------------------|-----------|
| ・要保護及び準要保護児童生徒就学援助費 | 2,588万4千円 |
| ・双葉町文化財保存活用事業補助金    | 1,730万6千円 |
| ・教育施設整備事業（基本計画策定）   | 1,529万円   |

### ■ 諸支出金

|                              |              |
|------------------------------|--------------|
| ・福島再生加速化交付金基金積立金             | 47億9,252万5千円 |
| ・特定原子力施設地域振興事業公共用施設事業運営基金積立金 | 10億974万1千円   |
| ・財政調整基金積立金                   | 8億6,561万3千円  |
| ・東日本大震災復興基金積立金               | 4億8,120万3千円  |
| ・公共施設整備基金積立金                 | 4億992万円      |
| ・電源立地地域対策交付金施設整備基金積立金        | 2億7,252万円    |

## 令和6年度決算における主な財政指標等

### ■ 地方債と基金現在高

地方債現在高

| 会計区分        | 6年度末現在高      |
|-------------|--------------|
| 一般会計        | 9億3,115万2千円  |
| 公有林整備事業特別会計 | 82万7千円       |
| 下水道事業会計     | 3億5,123万8千円  |
| 合 計         | 12億8,321万7千円 |

基金現在高（一般会計）

| 基金の種別         | 6年度末現在高       |
|---------------|---------------|
| 積立基金          |               |
| ・財政調整基金       | 43億8,421万7千円  |
| ・減債基金         | 66万7千円        |
| ・その他の特定目的基金   | 642億6,516万7千円 |
| 小 計           | 686億5,005万1千円 |
| 定額運用基金        |               |
| ・土地開発基金       | 2億2,070万円     |
| ・災害援護特別資金貸付基金 | 5,000万円       |
| ・その他の定額運用基金   | 1億589万円       |
| 小 計           | 3億7,659万円     |
| 合 計           | 690億2,664万1千円 |

### ■ 主な財政指標

#### ◎ 財政力指数 0.73（3カ年平均）

普通交付税の基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た過去3カ年の平均値で、「1」に近くあるいは「1」を超えるほど財源に余裕があるとされています。

#### ◎ 経常収支比率 57.4%

人件費、扶助費、公債費などの経常的経費に、地方税、地方交付税などの一般財源がどの程度充当されたかをみる指標で、この比率が低いほど、財政構造に弾力があるとされています。

## 令和6年度 特別会計歳入歳出決算の状況

### ■ 特別会計

| 会 計 名   | 歳 入          | 歳 出          | 差 引         |
|---------|--------------|--------------|-------------|
| 国民健康保険  | 13億2,228万6千円 | 12億4,157万4千円 | 8,071万3千円   |
| 公有林整備事業 | 135万9千円      | 135万9千円      | —           |
| 介護保険    | 11億668万9千円   | 9億2,989万7千円  | 1億7,679万2千円 |
| 後期高齢者医療 | 3,300万円      | 3,206万9千円    | 93万1千円      |

（千円未満の端数処理により、円単位と一致しない場合があります。）



## ■ 公営企業会計（法適用）

※公共下水道事業特別会計は、令和6年4月1日より地方公営企業法適用の公営企業会計（下水道事業会計）へ移行しました。

|       |            |            |
|-------|------------|------------|
| 下水道事業 | 収益的収入      | 収益的支出      |
|       | 2億9144万6千円 | 2億5894万8千円 |
|       | 資本的収入      | 資本的支出      |
|       | 4億1968万8千円 | 4億5346万4千円 |

（千円未満の端数処理により、円単位と一致しない場合があります。）

## 健全化判断比率及び資金不足比率について報告

令和6年度決算に基づく財政の健全化判断比率及び資金不足比率は、次のとおりです。

### 1. 健全化判断比率

（単位：％）

| 区 分   | 実質赤字比率 | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 |           | 将来負担比率 |
|-------|--------|----------|---------|-----------|--------|
|       |        |          | 3カ年平均   | 単年度       |        |
| 令和6年度 | —      | —        | 2.0     | 0.71019   | —      |
| 令和5年度 | —      | —        | 3.1     | 1.88736   | —      |
| 比率の増減 | —      | —        | ▲ 1.1   | ▲ 1.17717 | —      |

※表中において、実質赤字額、連結実質赤字額がなく、将来負担比率が算定されないため「—」と表示しています。

（単位：％）

|         |        |          |         |        |
|---------|--------|----------|---------|--------|
| 〔参考〕    | 実質赤字比率 | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 | 将来負担比率 |
| 早期健全化基準 | 15.00  | 20.00    | 25.0    | 350.0  |
| 財政再生基準  | 20.00  | 30.00    | 35.0    |        |

### 2. 資金不足比率

（単位：％）

| 区 分   | 資金不足比率  |
|-------|---------|
|       | 下水道事業会計 |
| 令和6年度 | —       |
| 令和5年度 | —       |
| 比率の増減 | —       |

※表中において、資金不足額がないため「—」と表示しています。

### 健全化判断比率及び資金不足比率とは

平成19年度に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、地方公共団体の財政の健全化を示すために定められた指標です。

双葉町では、「実質公債費比率」が高いことから、平成18年度に「公債費負担適正化計画」をスタートさせ、平成21年度には「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく「財政健全化計画書」を策定し、実質公債費比率の抑制に取り組んできました。比率の推移としては、平成19年度決算の30.1％（3カ年平均）をピークに、平成20年度以降は地方債残高の抑制努力により比率を徐々に引き下げ、平成22年度決算で早期健全化基準（25％）未満の23.7％となり、平成25年度決算では公債費負担適正化計画より1年前倒しして、実質公債費比率が18％を下回る17.1％となりました。令和6年度決算では令和5年度決算から1.1％減の2.0％となりました。

## 用語の説明

#### \* 実質赤字比率

普通会計（一般会計と公有林整備事業特別会計）における実質赤字額の標準財政規模（地方公共団体が自由に使える財源の標準的な規模）に対する比率です。

#### \* 連結実質赤字比率

町の全会計を対象に実質赤字額（普通会計・国民健康保険特別会計、介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）・資金不足額（下水道事業会計）の標準財政規模に対する比率です。

#### \* 実質公債費比率

経常的な一般財源に対する普通会計の公債費や公債費に準ずる債務負担行為（請戸川水系県営水利事業負担金等）、公営企業債（下水道事業会計）への繰出金、一部事務組合（双葉地方広域市町村圏組合、双葉地方水道企業団）への負担金のうち公債費に充てられた一般財源の割合で、過去3カ年の平均を求めたものです。

#### \* 将来負担比率

現在かかえている負債が、将来、財政を圧迫する可能性が高いかを示すストック指標で、公営企業、出資法人等を含めた普通会計の実質的負担の標準財政規模に対する比率です。

#### \* 資金不足比率

公営企業会計（下水道会計）の資金の不足額の事業の規模に対する比率です。

## 双葉町社会福祉協議会 ～ 11月 健康運動教室・サロンのお知らせ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。参加をご希望の方は、事前申し込みが必要となりますので、下記問い合わせ先へご連絡ください。

### ● 健康運動教室

| 会 場                                          | 開催日                       | 時 間           | 問い合わせ・申込先               |
|----------------------------------------------|---------------------------|---------------|-------------------------|
| 南東北総合卸センター 2 階第 6 会議室<br>(郡山市喜久田町卸 1 丁目 1-1) | ①毎週水曜日<br>②毎週木曜日<br>のどちらか | 13:30 ～ 15:00 | 郡山事務所<br>☎ 024-973-5291 |
| 福島市老人福祉センター 1 階多目的室<br>(福島市仁井田字八ツ割川原 3)      | 11月11日(火)                 |               |                         |

### ● 社協サロン

| 会 場                                  | 開催日       | 時 間           | 問い合わせ・申込先                       |
|--------------------------------------|-----------|---------------|---------------------------------|
| 県営泉本谷団地集会所<br>(いわき市泉町本谷字八合 7-1)      | 11月13日(木) | 10:00 ～ 13:00 | 本部事務局<br>☎ 0246-84-6725         |
| 白河市中心老人福祉センター会議室<br>(白河市北中川原 313)    | 11月18日(火) | 10:00 ～ 11:30 | 郡山事務所<br>☎ 024-973-5291         |
| 双葉町産業交流センター大会議室<br>(双葉町大字中野字高田 1-1)  | 11月19日(水) | 10:30 ～ 12:00 | 双葉町地域包括支援センター<br>☎ 0246-84-6729 |
| 富岡町役場いわき支所多目的集会施設<br>(いわき市平北白土字宮前 8) | 11月20日(木) | 10:00 ～ 13:00 | 本部事務局<br>☎ 0246-84-6725         |

## 森とふれあい、環境を学ぶ

9月19日、双葉町立双葉南・北小にて児童4人が参加して、福島県森林環境税を活用した森林環境交付金事業による森林環境学習が実施されました。県では、気候変動への理解と行動を促す取り組みとして、森林ボランティア「もりの案内人」を県内の学校などに派遣しています。

この日は、間伐材を使ったカスタネットづくりに児童たちが挑戦。木のぬくもりに触れながら、森の役割や自然の大切さについて楽しく学ぶ時間となりました。

福島県では、こうした体験を通じて、未来を担う子どもたちに環境への関心を育む活動を続けています。



## 放射線の認識に関するアンケート結果の報告（２）

今回は、９月号に引き続き、令和６年１２月に実施した町民の方を対象としたアンケートの結果について報告します。４６９人の方にご回答いただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。

集計の結果、町民の皆さんの現在の生活満足度の平均点は「５．８１点」でした。これは、２０２４年度の全国平均点（５．８９点／内閣府「満足度・生活の質に関する調査」）とほぼ同程度の水準でした。年代別で見ると、３０代の得点が最も高い傾向が見られましたが、年代ごとの得点分布に大きな差は見られませんでした（図１）。

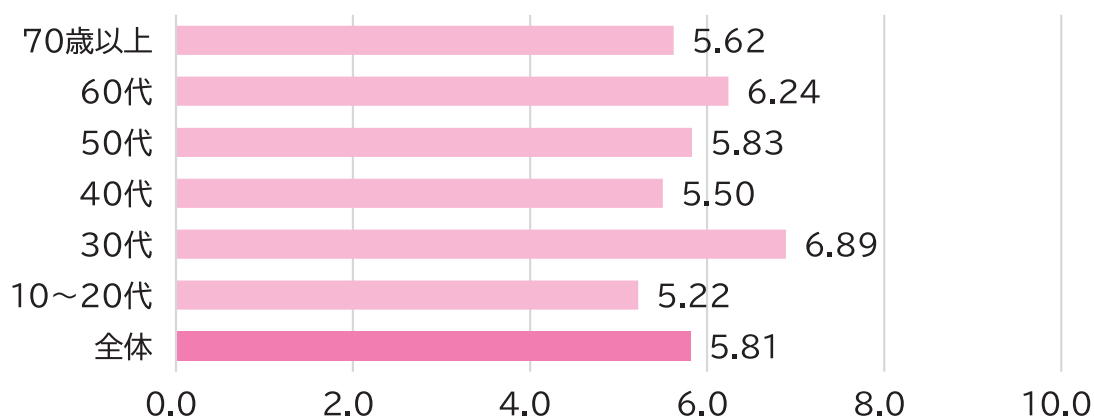


図１．年代別の生活満足度の平均値（点）

### 【回答結果より】

#### ・居住状況と帰町意向

現在双葉町に住んでいる方（帰町者・新規転入者）：約７％

その他の方（約９３％）の回答傾向：「帰町したい」、「帰町を悩んでいる」、「帰町する予定はない」

#### ・町への訪問頻度

約４４％の方が「年に１度程度」または「１年以上訪問していない」

#### ・交流への関心

約４８％の方が「帰町した人と関わる機会がほしい」と回答

→町民同士の交流への関心が高まっています。

#### ・長崎大学と双葉町役場の今後の取り組み

放射線と健康に関する相談の継続

町外在住の町民に向けた町内見学会などの企画の実施

長崎大学は、放射線被ばくと健康についての相談窓口を担当しています。

放射線と健康に関する疑問や質問がありましたら、双葉町役場健康福祉課を通じて、お気軽にお問い合わせください。



## 環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ

### 解体工事について

環境省では、双葉町の特定帰還居住区域（鴻草、渋川、長塚、寺沢、松倉、上羽鳥、下羽鳥、目迫、水沢、前田、新山、細谷、山田、松迫、石熊の各一部※）及びその周辺に位置する建物の解体の申請を受け付けています。解体をご希望の方は、下記窓口にご相談ください。

※所有建物の住所が対象区域が不明な場合は受付窓口へお問い合わせください。

※環境省が除染した家屋等は解体の対象外です。除染を希望しない場合のみ解体可能です。

#### 【解体申請受付窓口】 高島テクノロジーセンター（令和7年度環境省業務委託事業者）

場 所：いわき市東田町2丁目19-3 トークビル1-A号棟（双葉町いわき支所隣）  
 受付時間：月曜日～金曜日 8:30～17:15（祝日・年末年始を除く）  
 連絡先：☎ 0120-773-275（フリーダイヤル）

### 片付けゴミについて

特定帰還居住区域の片付けゴミの個別回収を実施中です。

家屋の片付けで生じたゴミの個別回収を行っております。申し込みは下記までお願いいたします。

#### 【片付けゴミ回収申込先】 株式会社 伊藤工務店（令和7年度環境省業務受託業者）

受付時間：月曜日～金曜日 8:30～17:00（祝日・年末年始を除く）  
 連絡先：☎ 0120-007-886（フリーダイヤル）  
 FAX 0120-004-553（24時間対応）

※事業系廃棄物や避難指示が解除された地域の片付けは受け付けておりません。

### 中間貯蔵施設について

#### ・中間貯蔵施設見学会のご案内

中間貯蔵事業情報センターでは、施設をバスで巡る見学会を開催しています。  
 今月の開催予定 11月14日（金）15日（土）  
 申込・問合せ 中間貯蔵事業センター（☎ 0240-25-8377）



#### ・除去土壌等の搬入状況（双葉工区）

2025年度の搬入量：28,819 m<sup>3</sup>（2015年からの累計：3,984,338 m<sup>3</sup>）

※2025年9月30日現在

#### ・放射線モニタリングについて

空間線量率の測定により、搬入による影響は確認されていません。今後も安全対策と放射線監視を継続します。

モニタリング結果はこちらのQRコードから確認できます。



【問い合わせ先】福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎ 024-563-1293

## 浜野行政区 総会・交流会

9月6日、震災後15年目の総会と交流会をいわき市の海に見える宿において開催しました。

参加者全員で黙祷の後、地区の現在の状況説明、業務内容と会計報告、役員改選を行いました。さらに、中野地区に建設中のホテル完成の暁には、総会を双葉町で開催することも確認しました。

交流会には伊澤町長に出席いただき、町復興への熱い想いを直接伺うことができました。また、波の音と活きのいい魚のおかずで、これまで海の恵みをいただきながら生活していた頃が思い出され、胸に迫りました。

来年は、浜野でみんなで賑やかに総会を開催します。ぜひ参加してください。

浜野行政区長 高倉 伊助



## 社会教育の功労者を表彰

8月27日、二本松市で福島県社会教育研究集会在開催され、長年に渡り地域の社会教育の発展に尽力してきた高倉さだ子さん（双葉町社会教育委員の会議副議長）と谷津田敬子さん（同委員）が功績を称えられ表彰されました。



## 双葉町民作品展覧会を開催します

町民作品展を下記の日程で開催いたします。たくさんの方のご来場をお待ちしております。また町民の皆さんの出品を募集しております。

展示スペースに限りがあるため、出品状況によっては全ての作品を展示できない場合がございます。あらかじめご了承ください。

**日 時：**令和8年1月9日（金）～11日（日）

9日は14：00～15：00 10・11日は10：00～15：00

**場 所：**双葉町産業交流センター（双葉町大字中野字高田1-1）

**入 場：**無 料

**出品申込期間：**令和7年12月1日（月）～12日（金）

**出品方法：**申込期間内に申込書を作品とともに生涯学習課まで提出してください。

詳細については実施要項をご確認ください。

申込書と実施要項は町ホームページからダウンロードまたは双葉町教育委員会生涯学習課、各支所に準備しています。

作品の返却については出品者自身での回収にご協力をお願いします。



【問い合わせ先】 教育委員会 生涯学習課 ☎0240-33-0206

## 南相馬連絡所を閉鎖します

南相馬市原町区の双葉町役場南相馬連絡所は令和8年3月31日をもって閉鎖します。閉鎖までは通常どおりの利用が可能です。

【問い合わせ先】 いわき支所住民生活課  
☎0246-84-5200

## 年金事務所からのお知らせ

11月30日(いいみらい)は「年金の日」です。「ねんきんネット」をご利用いただくと、パソコンやスマートフォンからいつでもご自身の年金記録を確認できるほか、ご自身の年金記録からさまざまな条件を設定した上で、年金見込額の試算をすることもできます。

詳しくは、日本年金機構ホームページをご覧ください。



## 財務省福島財務事務所 借金の無料相談会

財務省福島財務事務所では、専門相談員が借金を抱えお悩みの方から家計や借金の状況などを伺い、アドバイスを行うほか、必要に応じて弁護士などの専門家に引継ぎを行う相談会を開催します。まずは一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

日時：11月12日(水) 13:00～16:00  
(原則予約制・予約締切11月11日)

会場：相馬市総合福祉センター(はまなす館)  
(相馬市小泉字高池357)

【予約先】 財務省福島財務事務所 理財課  
☎024-533-0064(月～金 8:30～16:30)  
※当日でも相談可能な場合もあります。お気軽にお電話ください。

## 移動図書館の巡回日が変わります

富岡町図書館が設備工事のため、お休みになります。これに伴い移動図書館車の巡回日が変わります。

| 【変更前】             |   | 【変更後】             |
|-------------------|---|-------------------|
| 令和7年<br>11月26日(水) | ➡ | 令和7年<br>11月12日(水) |
| 令和8年<br>1月28日(水)  | ➡ | 令和8年<br>1月14日(水)  |

※時間は変わりません

【問い合わせ先】 富岡町図書館 ☎0240-21-3665

## 福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

| 名 称  | 就職面接会                                                                                                               | 就職支援                                                                                                                 |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時  | 11月27日(木) 13:30～15:00                                                                                               | 11月18日(火) 9:30～11:30                                                                                                 |
| 会 場  | 双葉町産業交流センター<br>(双葉町大字中野字高田1番地1)  | ハローワーク相双<br>(南相馬市原町区桜井町1丁目127)  |
| 内 容  | 相双地域等の企業13社参加                                                                                                       | 応募書類や自己PRのポイント説明                                                                                                     |
| 参加方法 | 電話、ホームページから予約 または当日参加                                                                                               |                                                                                                                      |
| 備 考  | 雇用保険受給者の方は求職活動実績になります。                                                                                              |                                                                                                                      |

【問い合わせ先】 福島広域雇用促進支援協議会 ☎024-524-2121



## ふるさと双葉の歴史・文化

### 第13回 地名「迫」が語る町の記憶 地域のアイデンティティを探る

双葉町では「松迫（まつぎく）」や「目迫（めさく）」など「迫」という名前の地名をよく見かけます。

「迫」が使われている地名は町全体で52カ所あります。この「迫」という字を充てる地形表現は全国的にも珍しく、福島県浜通り地方だけに見られる特別なものです。

ただし「迫」はパソコンなどで使えない文字（外字）なので代わりに「迫」と書かれることもあります。

迫は、三方を低い丘陵地などに囲まれた舌状の低地とその一帯の地形を指します。

迫の地形を生かして人々は田畑を耕し暮らしていました。しかし、町の主要河川である前田川だけでは十分な水量を確保できませんでした。このため迫ごとにため池を作り、農業用水として利用することで双葉町ならではの農村の風景が出来上がりました。

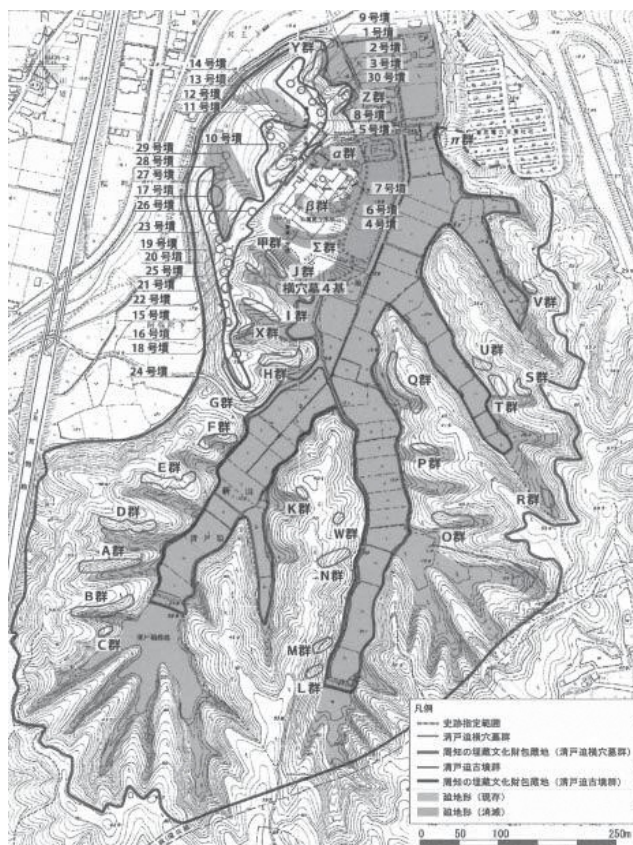
また、迫地形を形作る岩盤は、柔らかく掘削しやすかったことから、古墳時代には墓地（横穴墓・古墳）として利用されました。現在確認している横穴墓・古墳のうち、半数にあたる約20カ所程度で名称に迫が付いています。

代表的なものが「清戸迫（きよとさく）」です。ここには大きな迫の地形が残り、まわりの丘には東日本最大級の横穴墓群「清戸迫横穴墓群」\*や町内最大の古墳群「清戸迫古墳群」\*

がこの一帯に所在しています。迫に由来する農業のための地形と昔のお墓が同じ場所にあるのは双葉町ならではの特徴です。

地名には、その地域の歴史や文化が詰まっています。

「迫」という漢字の意味を知ると、この地形が人々の暮らしにどのような影響を与えたのかが見えてきます。双葉町の歴史や文化を探る鍵となるでしょう。



\* 遺跡台帳の表記

## 交通安全運動キーホルダー贈呈

9月22日、浪江地区交通安全協会双葉支部が双葉町立小学校と中学校の児童・生徒にキーホルダーを贈呈しました。

この取組は秋の交通安全運動に合わせて行われたもので、児童や生徒の交通安全意識の向上や交通ルール順守を目的に作成されました。



## 昭和55年度 双葉中学校卒業生還暦同級会の開催について

日 時 12月28日(日) 14時

会 費 10,000円

場 所 いわきワシントンホテル椿山荘  
(福島県いわき市平字一丁目1番地)

☎0246-35-3000

申込み 出席される方は11月26日(水)までに  
幹事へ連絡をお願いします。

※宿泊される方は各自でご予約願います。

幹 事 菊池 秀則 ☎090-2270-4573

荒川 直人 ☎090-4636-0411

## 昭和46年度 双葉中学校卒業生 同級会「古希祝」のお知らせ

このたび、双葉中学校昭和46年度卒業生による同級会「古希祝」を開催すること運びとなりました。

今回が全体での同級会は最後になるかもしれません。ぜひお誘い合わせてのうえ、ご参加いただけますと幸いです。

皆様にお会いできることを楽しみにしています。

日 時 令和8年1月18日(日)

懇親会・宿泊場所

12:00 集合(福島いこいの村なみえ)

福島いこいの村なみえ

昼食(道の駅なみえ)

(双葉郡浪江町大字高瀬字丈六10)

古希払い(初發神社)

☎0240-34-6161

視察①: 東日本大震災・原子力災害伝承館

会 費 12,000円

視察②: 双葉町内見学

宿泊費 8,000円(各自精算)

18:00 懇親会(福島いこいの村なみえ)

申込締切 12月14日(日)

問い合わせ 堀川 光男 ☎090-7074-7882

井上 正夫 ☎090-3759-1346

### 人のうごき9月分 敬称略

#### お誕生おめでとうございます

| 氏 名   | 生年月日  | 保護者    | 行政区 |
|-------|-------|--------|-----|
| 佐藤 ゆい | 9月 2日 | 亮太・さゆり | 三 字 |

#### お悔み申し上げます

| 氏 名   | 年 齢 | 死亡日   | 行政区 |
|-------|-----|-------|-----|
| 鈴木 英治 | 83  | 8月27日 | 郡 山 |

了承の得られた方のみ掲載しています。

秘書広報課 ☎0240-33-0125

### 双葉町民の避難状況 (令和7年10月1日現在)

- ・福島県内に避難されている方 3,720人
- ・福島県外に避難されている方 2,638人



## 双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた  
お便りの一部をご紹介します

・秋長<sup>た</sup>けて 虫の音<sup>ね</sup>聞こゆ 補聴器に  
・エアコンで 部屋の掛軸<sup>かけじく</sup> 揺れている  
・涼しいよーと 揺らぎ止まらず  
・異郷の地 磐梯山が頑張れと  
・吾れを励ます 如くに見えて  
・出穂揃<sup>さわ</sup>い 心爽<sup>さわ</sup>やか 畦道<sup>あぜみち</sup>に  
・秋風抜ける 稲穂揺らして  
・彼岸花 赤ホーヅキを添え供え  
・亡<sup>な</sup>夫亡<sup>な</sup>息子に語る 彼岸入りだよ

今泉 禮子(長塚二)

※双葉の風だよりでは皆さまからの投稿をお待ちしております。



食改さんおすすめ  
家庭で減塩レシピ

【根菜の甘みたっぷり】

# どさん汁

【1人当たりの栄養価】

エネルギー…136Kcal たんぱく質…6.9g  
脂質…6.1g 炭水化物…7.4g 食塩相当量…0.6g

## 【材 料】(2人前)

- ・豚肉……………20g
- ・ジャガイモ……60g
- ・ニンジン…………15g
- ・ゴボウ…………15g
- ・きのこ…………15g
- ・豆腐……………150g (1/2丁)
- ・小口ネギ…………少々
- ・コーン(身) ……20g
- ・米味噌…………15g (大さじ1弱)
- ・無塩バター……2g (小さじ1/2)
- ・出汁……………240ml

**1** 鍋で油を熱し、にんにく、シヨウガ(分量外)・豚肉を炒める。

**2** ジャガイモ、ニンジン、ゴボウ、きのこを出汁で煮る。

**3** ジャガイモが煮えたら、豆腐、コーンを加え、味噌で味を調える。

**4** 汁を器に分け、仕上げに小口ネギと無塩バターをのせる。

根菜の甘みが引き立つよう塩分は控えめに。ふわっと香るバターが食欲をかきたてます。

## 双葉町の今がわかる



X



Instagram



YouTube



Facebook



ふるさと納税



双葉町公式ホームページ、公式YouTubeチャンネルはこちらから ➡

